

不登校生 地域に居場所

新居浜「スクノマの会」

学校に行けない子どもと保護者を支え、第三の居場所づくりに取り組む新居浜市の有志の会「スクノマの会」（原寿也会長、約15人）が活動の幅を広げている。相談や学習支援に加え、農作業体験も実施。「地域で頼れる場所の一つに」と親子に向き合っている。



スクール・サポート教室でイルミネーションの下絵作りに取り組む参加者

「安心感を提供したい」 や体験 支援 学習 支援 農作業

スクノマは「スクール」に遊牧民を意味する「ノマド」を加えた造語「スクールノマド」の略。不登校の子を持つ親を支えようと、市PTA連合会のメンバーや県人権対策協議会新居浜支部の役員らが2021年4月に設立した。市教育委員会の後援を受け、23年度から同支部の事業の一環で活動している。

生徒の学習をサポート。学校や市が設置する適応指導教室とも連携し、会の活動参加が学校の出席扱いとして認められるよう市教委に申請している。

参加は原則無料。小学生から高校生だけでなく、高校生以上も受け入れ。公式LINE（ライン）では24時間匿名で不安や悩みを打ち明けることもできる。電話やラインだけでつながっている中高生や保護者も多い。

原会長は「子どもも大人も困ったときに頼れる場所があるのとなしいのでは大きく違う。会が安心感を提供できる場になればうれし」と話している。

問い合わせは、スクノマの会ホームページ（HP）＝<https://nihama-jinken.jp/sukunoma/>

から。HPにあるラインのQRコードから、面談の予約や相談を受け付ける。

（石川美咲）

毎週火曜と木曜の午前10時～正午は、瀬戸会館（同市瀬戸町）でカウンセラーなどの資格を持つ相談員が保護者らの相談に応じる。その間、教員OBが児童・